

発言No.

7

受付No.

3

令和7年6月10日

4時22分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

☒市長 ☒教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 地域計画策定について

- ① 集落単位で地域の農地をどう利用していくか方針をまとめる計画で、10年後、誰が耕作するか農地一筆ごとに農家を位置付けるマップを、令和7年3月末までに作ることが義務付けられている。浜田地域、金城地域、旭地域、弥栄地域、三隅地域の各地域における地域計画策定の現状を伺う。
- ② 地域計画策定後の課題を伺う。
- ③ 地域計画策定後の基盤整備事業について、市の考えを伺う。

(2) 総合防除（IPM）について

- ① 農林水産省は、総合的病虫害・雑草管理（IPM）の新たな実践指針の方向性を示している。環境保護を重視した現指針から、予防と予察を重視し、農家の経済性も尊重した防除指針に転換する。防除コスト削減などの導入メリットや具体的な取組内容を例示し、農家のIPM導入の心理的・実践的ハードルを下げ、普及推進につなげると聞くが、市の考えを伺う。

(3) 給食費について

- ① 学校給食用米価の大幅な値上がりが給食費を圧迫し、全国的に、子どもや保護者に影響が及び始めたと聞くが、市の状況と今後の課題について伺う。
- ② 有機農産物の活用について影響があるのか伺う。

(4) 熱中症対策の義務化について

- ① 気象庁によると、今年の夏も気温は全国的に平年より高くなる見込みと聞く。懸念されるのが農作業中の熱中症による事故で、農林水産省の統計では毎年 20 人～40 人が熱中症で死亡している。そうした中、労働者を雇う全ての企業で熱中症対策が今年の 6 月から義務化された。人を雇っている農業法人なども対象となるが、市の対応について伺う。

2 除雪車オペレーターの確保について

- ① 今冬は、雪も多く連日のように除雪作業に追われた地区もある。高齢化が進みオペレーターの担い手確保が重要な課題であり、県は、除雪機械の運転資格の取得費用に対しての支援をしている。オペレーター確保について市の考えを伺う。

3 小中学校多機能トイレの整備について

- ① 校舎に多機能トイレを整備している小中学校は、2024 年において全国平均で 74.3%、島根県は、60.3%と聞く。浜田市の整備状況について伺う。
- ② 今後の整備について市の考えを伺う。